

今月の安全運転管理

二日酔い運転につながる そのもう一杯

①飲酒運転根絶強調月間です!

- 二日酔い運転の防止を図ろう
- 家族ぐるみで飲酒運転根絶を図ろう

②年末の交通安全県民運動

【12月1日(木)~12月10日(土)】

- 速度抑制を呼び掛けよう
- ※県内一斉大監視 12月6日(火)午後4時~午後6時



二日酔い運転の防止を図ろう

今月は飲酒運転根絶強調月間です。事業所を挙げて飲酒運転根絶に取り組みましょう。飲酒運転で盲点となりやすいのが、二日酔い運転です。アルコールを分解するには、予想以上の時間がかかります。たとえば、ビール中ジョッキ程度の五〇〇mlを飲んだ場合、身体からアルコールが抜けるには、約四時間かかるといわれています(個人差あり)。このような飲酒に関する情報を周知するとともに、翌日に運転の予定がある場合は、飲酒を控える、飲酒量を減らすなど、二日酔い防止対策を指導しましょう。

家族ぐるみで飲酒運転根絶を図ろう

飲酒運転根絶は、事業所だけの取組みで実現できるものではありません。そこで、従業員の家族を巻き込み、職場・家庭両面から飲酒運転防止に取り組みましょう。ある事業所では、従業員の家族に向けて飲酒運転の危険性や罰則等を記載したチラシを送付して、従業員はもちろん、その家族に対しても飲酒運転根絶を呼び掛けて、効果をあげています。



速度抑制を呼び掛けよう

現在、県警では「ラストスパート2022」と銘打ち、速度抑制等の交通事故抑止対策を展開しています。事業所でもこの運動に呼応して、速度抑制を呼び掛けましょう。速度の出し過ぎは、危険の見落としにつながります。また、危険を発見しても回避が間に合わず衝突するおそれが高まります。さらに、速度が上がることで事故の衝撃も大きくなり被害も拡大します。繁忙期の年末だからこそ、速度抑制を呼び掛け、無事故で新年を迎えましょう。